

第三次 大井町子ども読書活動推進計画

～夢☆おおい読書のすすめ～



令和3年3月
大井町教育委員会

目 次

第1章	第三次計画策定にあたって	1
1	はじめに ～計画策定の趣旨～	
2	現状と課題	
3	国・県の動向	
4	大井町の動向	
5	計画の位置づけ	
6	基本方針	
7	計画の体系	
8	計画の期間	
9	計画の対象となる子どもの年齢	
第2章	第二次大井町子ども読書活動推進計画の成果と課題	4
1	第二次大井町子ども読書活動推進計画の検証	4
	(1) 家庭への取組	
	(2) 学校等における取組	
	(3) 地域における取組	
	(4) 関係機関・団体等の連携・協力	
2	大井町の子ども読書活動に関する調査の結果	7
第3章	子どもの読書活動推進のための方策	26
1	子ども読書活動の推進	26
	(1) 家庭における読書活動の推進	
	(2) 学校における読書活動の推進	
	(3) 保育園・幼稚園における読書活動の推進	
	(4) 生涯学習課（図書館）における読書活動の推進	
2	子ども読書活動推進のための啓発	29

第1章 第三次計画策定にあたって

1 はじめに ～計画策定の趣旨～

子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。

しかしながら、近年、スマートフォン等の普及やそれを活用した情報メディアの発達により、利便性が向上した反面、子どもたちが多くの時間を費やし、没頭してしまい、子どもの「読書離れ」はますます深刻になってきています。幼児期からの「読書離れ」によって、読書習慣が未形成となるばかりでなく、言語能力の低下を引き起こし、日本語の乱れなどへの影響が懸念されます。

こうしたことから、国や県は、子どもの読書活動に関する施策を計画的に推進し、家庭・地域・図書館・学校などが緊密に連携を図ることで、社会全体で子どもが読書ができるような環境づくりを進めています。

大井町では、平成20年3月に「大井町子ども読書活動推進計画」を策定し、平成25年3月に「第二次大井町子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

本計画は、これまでの取組の成果や課題などを踏まえ、よりよい子どもの読書活動を推進するために今後5年間の読書活動推進の方策を示します。

2 現状と課題

家庭では、幼児期には子どもに読み聞かせをしても、子どもが成長するにつれて、忙しくて徐々に読み聞かせをしなくなってしまうといった傾向があります。

また、大井町では山間部の地域があり、図書館まで本を借りに来ることや読み聞かせなど講座参加が不便という問題があります。

子どもが色々な本と出会うきっかけづくりが出来るよう、本町では保育園や幼稚園・学校・教育機関で、ボランティアによる読み聞かせや図書整備を進めています。

今後は、さらに大井町図書館や地域との連携を深め、保護者にも周知・啓発を行っていくことが大切です。

大井町図書館の各種事業の内容や周知についても、その都度見直すべく、図書環境の整備やサービスの充実が必要となります。

3 国・県の動向

国では、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行し、同法を踏まえ、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定しました。

そこで、神奈川県教育委員会では、平成16年1月に「かながわの読書のススメ～神奈川県子ども読書活動推進計画～」(第一次計画)を策定したのを始めとし、「第二次計画」(平成21年7月)、「第三次計画」(平成26年4月)、「第四次計画」(平成31年3月)の策定を経て読書普及活動を進めています。

第四次計画では、『友のように いつも そばに 一冊の 本を』～本との出会い、本から拓く 思いやり 心のつながりを大切に～をスローガンに「家庭」「地域」「学校等」「専門・関係機関及び団体等」が緊密に連携を図ることで、子どもの読書活動を推進し、すべての子どもが、あらゆる機会や場所において自主的に読書活動ができるよう様々な取組を進めるよう具体的な方向を示す計画を策定しました。

4 大井町の動向

本町では、平成20年3月に「大井町子ども読書活動推進計画」、平成25年に「第二次子ども読書活動推進計画」により、これまで家庭・学校・地域の様々な場面で団体や関係者と連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

その間、平成24年、平成27年に大井町の子ども読書活動に関する調査を行い、本町における子どもの読書活動の実態を把握することで、今後の方向性を明らかにしてきました。

今回も、「かながわ読書のススメ～第四次神奈川県子ども読書活動推進計画～」(平成31年3月)を基本として各園・学校へアンケート調査を行い、令和3年度から「第三次大井町子ども読書活動推進計画」を策定するもので、今後の本町における子どもの読書活動を総合的に推進するための方向性と方策を示します。

5 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月)第9条第2項の規定に基づくものであり、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次計画)」(平成30年4月)及び「かながわ読書のススメ～第四次神奈川県子ども読書活動推進計画～」(平成31年3月)を基本として策定するものです。

「大井町第6次総合計画(令和3～12年度)」を踏まえ、「生涯学習第4次推進計画(令和3～7年度)」との連携を図り策定します。

6 基本方針

本計画は、第一次及び第二次計画の方針を踏襲し、次の3つを基本方針として本町の子どもたちの読書活動を推進し、読書環境の整備を図ります。

(1) 子どもが読書に親しむことを支える人づくり

家庭や学校等をはじめボランティアや地域の大人たちが関わりを持ち、子どもがより良い本と出会うことができるよう「人づくり」を進めます。

(2) 子どもが読書に親しむための環境づくり

様々な機会と場所において、読書への関心を高めるよう取組の充実を図り、子どもの読書活動のきっかけをつくる環境を整えます。

(3) 子どもが読書活動に親しむための啓発

読書活動の意義や重要性について広く情報を収集し、町民や学校などに情報発信していきます。

7 計画の体系

「夢☆おおい読書のすすめ」←5つの提言から

- ・乳幼児からの働きかけ
 - ・保護者への周知
 - ・読書環境整備
 - ・地域・学校・図書館の連携
 - ・学校司書配置

基本方針

- 子どもが読書に親しむことを支える人づくり
- 子どもが読書に親しむための環境づくり
- 子どもが読書活動に親しむための啓発

読書活動推進の取組

- 家庭における推進
 - 読書環境の充実
 - ブックスタート事業の実施
 - 講座・研修会等での啓発

- 学校における推進
 - 読書活動の推進
 - 読書時間の確保
 - 読書環境の整備と充実
 - 図書主任、司書教諭及び学校司書の配置と研修

- 生涯学習課（図書館）における推進
 - 図書館資料やサービスの充実
 - おはなし会などの実施
 - ティーンズ（青少年）サービスの充実
 - ブックリストの発行
 - 団体貸出の充実
 - 小中学校等の連携
 - 障がいのある子どもに対する図書館サービスの充実
 - 読書ボランティアの育成・支援

- 保育園・幼稚園における読書活動の推進
 - 保育園・幼稚園における絵本と親しめる環境づくり
 - 保護者に対する家庭での読み聞かせの奨励

- 子ども読書活動推進のための啓発
 - 「子ども読書の日」・「ファミリー読書の日」等における事業啓発
 - 広報・ホームページによる情報掲載

8 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

9 計画の対象となる子どもの年齢

0歳からおおむね18歳までとします。

第2章 第二次大井町子ども読書活動推進計画の成果と課題

「子どもが読書に親しむための環境づくり」「子どもの読書活動に関する理解と関心の啓発」の2つを基本方針とし、平成25年度から令和2年度の8年間の計画を検証します。

また、小学生までの読書活動に重点を置いたアンケート調査を実施した結果から、今後の子どもの読書活動推進のための方向性や取組を示すものです。

1 第二次大井町子ども読書活動推進計画の検証

(1) 家庭への取組

町の乳児健診の際に、図書館で作成したおすすめ本の掲載パンフレットを配布し、図書館の案内とわらべうたやおはなし会などの図書館で開催される事業を紹介し、親子が本と出会うきっかけづくりを行いました。

また、町の育児教室でもわらべうたを実施し、絵本を通じて子どもと過ごす時間を楽しめるよう取り組みました。

町の保健福祉センターやふれあい館では、図書館のリサイクル図書や寄贈リサイクル本を配架し、気軽に手に取って本の読み聞かせができるような環境をつくっています。

保育園や幼稚園は、園児の在園時に読み聞かせを行い、絵本を読んだ時の様子などを保護者に伝え、親子で共通の話題にできるようにしています。

保護者に対しては、親子で楽しむ月刊誌の紹介や家庭通信などで絵本の紹介を行い、懇談会において家読の大切さを伝えています。

小・中学校では、児童・生徒におすすめ本の紹介や授業の中で扱うことで、読書について興味を持つようにしています。

一方、次のような課題があります。

- ① ブックスタート事業の拡充と家庭での読書への関心を高める工夫が必要です。
- ② 町図書館の講座などの参加について、地域問題解決のため、代替えとなるような新たな事業の実施が必要となります。
- ③ 保護者に向けて、学校や町の家庭教育学級などの事業で重点的に読書の重要性を幅広く話題に取り上げられるような取組が必要です。

(2) 学校等における取組

ア 保育園・幼稚園

●蔵書冊数

令和2年7月調査

施設名	施設数 (箇所)	蔵書冊数	
		総数 (冊)	施設当たり平均 (冊)
保育園	1	625	625
幼稚園	3	3,553	1,184

●読書活動

保育園・幼稚園 4箇所

令和2年7月調査

	素ばなし	読み聞かせ	*1 ブックトーク	紙芝居	パネルシアター	*2 その他
毎日		4		1		
週1				1		
週2回以上				1		
月1					1	
月2以上					1	
不定期	3		2	1	2	1
合計 (%)	3 (75%)	4 (100%)	2 (50%)	4 (100%)	4 (100%)	1 (25%)

*1 ブックトーク・・・一定のテーマを決めてテーマに合わせていろいろな本を紹介すること

*2 その他・・・ボランティアによる読み聞かせ

保育園や幼稚園では、毎日様々な場面で読み聞かせを行うことで、読書は園生活での一部となっています。

園では、保護者や地域ボランティアによるおはなし会を開催したり、季節や行事に合わせた読書を取り入れたりしています。

また、懇談会で絵本の読み聞かせの大切さを伝え、クラスだよりでも園児が読んだ本や興味のある本の情報を保護者と共有しています。

今後も取組内容を継続し、さらに家庭での読み聞かせにつながるよう保護者に向けて、働きかけにも工夫が必要です。

イ 小学校・中学校

●蔵書冊数

令和2年7月調査（特別支援学級除く）

施設名	学級数	蔵書冊数	
		総数 (冊)	国の図書標準 (冊)
大井小学校	17	9,000	9,960
相和小学校	6	3,913	5,080
上大井小学校	8	6,000	6,040
湘光中学校	14	12,000	11,680

文部科学省は、平成5年3月に学校の学級数によって整備すべき蔵書の標準を定めました。町の学校の蔵書冊数については、文部科学省が定めた蔵書の標準を一部下回っている状況です。

学校図書館での取り組みは、児童・生徒が要望する本や職員アンケートから購入図書を選定し、教科書参考図書購入により学習に活用する整備も行なっています。

また、学校では、年度初めに図書教育指導計画を提案し、図書館利用指導の充実を図って

います。

児童・生徒は、学校で過ごす1日のなかで、読書タイムを設け、時間を決めて取り組むことで、集中して落ち着いた時間を過ごすことができます。

このような状況の中で次のような課題があります。

- ① 蔵書冊数を文部科学省の標準に引き上げる必要があります。
- ② 学校図書館の専門的な知識をもつ図書館司書の適正な配置整備を行うことが必要です。
- ③ 学校図書館に蔵書管理のために必要なインターネット接続ができるパソコンを導入し、情報を収集する環境整備が必要です。
- ④ 中学校でも、学習活動で積極的に学校図書館や町図書館の利用を促進し、生徒の情報活用能力を育てることが必要です。
- ⑤ 図書ボランティアや図書委員会の児童・生徒によるレクリエーションを取り入れた読書についての活動を実践していくことが必要です。
- ⑥ 学校での図書活動の様子を家庭に発信することがほとんどなかったことから、家庭への発信の方法を検討する必要があります。

(3) 地域における取組

ア 町図書館

図書館では、乳幼児期から本に親しむ環境づくりのため「おはなし会」や「絵本とわらべうたの会」の開催や図書ボランティアと協力し、保育園での「おはなし会」を行っています。

また、ボランティア養成講座で「子どもの読書」についての講座を開催し、読書ボランティアの養成支援を行っています。

町図書館での情報は、広報おおいや大井町図書館ホームページで更新し、体験講座の実施時には大井町役場ホームページに話題の掲載を行い、地域ケーブルテレビでは季節ごとの図書館の情報を発信するなど、図書館の取組を広く知ってもらえるように広報しています。

小学校には、毎年一定期間、図書館のおすすめ本をまとめて貸出する「貸出文庫」や、小中学校の授業で使われる図書の「団体貸出事業」を行い、様々な本と出会うきっかけを作れるよう取り組んでいます。

中学校には、職場体験を通じて、図書館への関心が高まるような取組を行っています。

図書館の配架にもティーンズ部門の充実を図るため、ヤングアダルトコーナーの設置に力を入れています。

一方、次のような課題があります。

- ① 子どもの年代に合わせたブックリストの作成の充実が必要です。
赤ちゃんから幼児期、小学校、中学校と発達段階に沿ったブックリストを作成し、読書の啓発が必要です。
- ② 小学校から中学校の発達に合わせた読書のイベントを行うなど、図書館事業の充実が必要です。
- ③ 障がいのある子どもへの読書活動が支援できるよう、小中学校の特別支援学級にも図書館の蔵書を貸出できるよう図書の整備を行い、学校連携を進めて行くことが必要です。

イ その他（町図書館以外）

子育て支援センターでは、親子のふれあいの時間や読み聞かせのきっかけづくりとして、希望者に絵本や雑誌の貸出を行っています。

図書館から赤ちゃん情報誌や幼児向け絵本の受入れも行っています。

児童コミュニティクラブでは、図書館から貸出文庫やリサイクル図書を提供し、子どもたちが手に取って色々な本に触れ合う機会を設けています。

生涯学習課が行う出前講座では、小学校の学習として図書館の施設見学が行われています。図書館の利用方法について学びながら、自ら読書への興味が持てるよう取り組んでいます。

(4) 関係機関・団体等の連携・協力

毎年、図書館と学校図書担当教諭と図書について情報交換会を実施し、学校図書貸出状況や貸出文庫などの年間図書事業を確認しています。

また、社会教育委員は、読書活動についての調査や研究、研究会の参加など日頃から読書活動推進に努めています。

しかし、町では、県・近隣市町の情報収集を行ってきたものの読書活動推進の見直しや改善につなげることが不十分であったので、連携して読書環境の整備に努める必要があります。

2 大井町の子ども読書活動に関する調査の結果

○大井町立保育園・幼稚園年少児保護者、大井町1歳6か月児・2歳6か月児健診参加幼児保護者に関する調査

実施期日：令和元年11月

対象者：大井町立保育園・大井町立幼稚園年少児保護者（令和元年度）

大井町1歳6か月児・2歳6か月児健診参加幼児保護者（令和元年度）

回答数：【大井町保育園・大井町立幼稚園年少児保護者】60人

男2人 女58人（20代14人 30代34人 40代10人 50代1人 無回答1人）

【大井町1歳6か月児・2歳6か月児健診参加幼児保護者】37人

男2人 女35人（20代7人 30代26人 40代4人）

実施主体：大井町社会教育委員

※表では人数、グラフでは回答数における人数を割合で表示しています。

※無回答、もしくは端数四捨五入のため100%にならない場合があります。

家でのお子さんへの読み聞かせについて教えてください。

問1 お子さんへ読み聞かせをしていますか。

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	はい	85%	78%
2	いいえ	13%	22%
3	無回答	2%	

1・2歳児の保護者の方が、育児に時間を費やすため、読み聞かせをする時間が取れていない。しかしながら、忙しい中で8割近い保護者が読み聞かせに時間を割いている。

問2 問1で「はい」と答えた方にお伺いします。(年少児の保護者 51人、1・2歳児の保護者 28人)

読み聞かせを始めたおよその時期は、いつですか。

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	0～11ヶ月	47%	76%
2	1歳～1歳11ヶ月	31%	17%
3	2歳～2歳11ヶ月	14%	7%
4	3歳	8%	0%
5	その他	0%	0%

読み聞かせを早い時期から取り組んでいる保護者が増えている。

(2) 読み聞かせの頻度を教えてください。

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	毎日	16%	61%
2	週に3～6回	27%	16%
3	週に1～2回	39%	10%
4	月に1～2回	18%	13%

1・2歳児の保護者は毎日読み聞かせを行っている割合が高い。

(3) 読み聞かせの本をどのように入手しますか。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	買う	71%	55%
2	図書館で借りる	33%	24%
3	保育園・幼稚園で借りる	51%	10%
4	自宅にある本	75%	31%
5	電子書籍を利用	2%	0%
6	その他	6%	0%

1・2歳児の保護者は活動範囲が広がるのか、いろいろな方法で本を借りている。その他の意見としては、「友だちからもらう」「兄弟が保育園からもらってる」「夫の母が送ってくる」などの意見があった。

(4) 本は、どのように選んでいますか。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	自分が気に入って	84%	86%
2	知人や友人にすすめられて	22%	20%
3	保育園・幼稚園にすすめられて	22%	38%
4	家族や親戚にすすめられて	18%	31%
5	子どもの頃に読んでもらって	37%	62%
6	その他	6%	34%

「子どもの頃に読んでもらって」「保育園や幼稚園にすすめられて」が高くなっている。その他としては、「子どもが選ぶ」「子どもが気に入って」「子どもが興味を示しそうなもの」「わらべうたで紹介されて」などがあった。

(5) お子さんへ読み聞かせする理由を教えてください。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	子どもの感性・言葉が豊かになるから	57%	55%
2	本に興味を持ってほしいから	51%	52%
3	子どもが落ち着くから	9%	14%
4	自分の気持ちが落ち着くから	2%	0%
5	親子で楽しめるから	47%	31%
6	子どもが喜ぶから	90%	72%
7	その他	6%	10%

年少児の保護者で「親子で楽しめるから」「子どもが喜ぶから」と増えているのは、子どもの言葉による発達に伴い、感情が表現されているからではないかと考える。その他としては、「寝る前に読むと落ち着くから」という意見があった。

(6) お子さまに読み聞かせをしてよかった本やおすすめしたい本があったら教えてください。

「バケバケバケタくん」「だるまちゃんシリーズ」「アンパンマンの本」「いい子でねんねできるかな」「だっしゅん つくった」「ノンタンシリーズ」「お月さまこんばんわ」「だっこでぎゅ」「うさこちゃんシリーズ」「アンパンマンとカレーパンマン」

問3 問1で「いいえ」と答えた方にお伺いします。(年少児の保護者8人、1・2歳児の保護者9人)
読み聞かせをしない、または、しなくなった理由を教えてください。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	忙しくて時間がとれない	50%	50%
2	仕事をしていて時間がないから	0%	25%
3	家での必要性を感じないから	0%	0%
4	子どもが希望しないから	38%	13%
5	本を読む習慣がないから	38%	38%
6	読み聞かせを負担に感じるから	47%	63%
7	その他	6%	13%

読み聞かせに負担を感じている保護者が年少児の保護者に比べて多い。その他としては、「すぐに子どもがページをめくってしまい読めない」「子どもが聞かない」などの意見があった。

問4 読書の頻度について教えてください。(保護者自身が読む本)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	1ヶ月に0冊	68%	79%
2	1ヶ月に1～2冊	23%	12%
3	1ヶ月に3～5冊	7%	3%
4	1ヶ月に6冊以上	2%	6%

1・2歳児の保護者の方が育児に時間がかかるため、自分の時間(読書に費やす時間)が取りづらいのではないかとと思われる。

問5 読書をする理由について教えてください。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	教養を身に付けるため	68%	71%
2	仕事に生かすため	37%	71%
3	趣味に生かすため	53%	43%
4	話題づくりのため	5%	14%
5	本を読むことが好きだから	84%	57%
6	その他	42%	0%

1・2歳児の保護者の方が、「仕事に生かすため」に読書をする割合が高くなっている。

問6 神奈川県教育委員会が定める「ファミリー読書の日」(毎月第1日曜日)を知っていますか。

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	知っている	3%	0%
2	知らない	97%	100%

1・2歳児の保護者の全員が「ファミリー読書の日」を知らなかった。周知するとともに、図書館の来館者が分かりやすい場所にポスターを掲示しておく。

問7 大井町の図書館<大井町図書館(生涯学習センター内)、そうわ会館図書室>をどのくらい利用されますか。

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	週に3回以上	0%	0%
2	週に1～2回	4%	0%
3	月に1～2回	27%	12%
4	年に数回	33%	18%
5	ほとんど利用していない	36%	70%

1・2歳児の保護者の70%が、ほとんど利用していない結果となった。その他としては、「忙しくて時間がない」「引っ越してきたばかりで、場所が分からない」「本より体を使った遊びが多い」「タイミングがあわない」などの意見があった。3か月児健診などで、図書館の場所と図書館事業について周知していく必要がある。

問8 大井町の図書館事業について知っている項目に○をつけてください。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	絵本とわらべうたの紹介	55%	27%
2	絵本とわらべうたの会	60%	41%
3	1日体験わらべうた	28%	16%
4	おはなし会	73%	49%
5	親子といっしょのおはなし会	55%	35%

1・2歳児の保護者が図書館事業を知らない割合が高くなっている。周知の仕方について工夫する必要がある。

問9 子どもたちが本に親しむために、何が必要だとお考えですか。(いくつでも)

No.	項目	年少児の保護者	1・2歳児の保護者
1	家庭で読み聞かせの機会を増やす	75%	70%
2	家庭で読書タイムを作る	35%	27%
3	家族に自分の読書を親しむ姿を見せる	30%	16%
4	子どもの身近なところに本を置く	67%	57%
5	図書館や書店に子どもと行く	60%	32%
6	保育園・幼稚園で本を楽しめる機会を増やす	65%	27%
7	町立図書館等の施設や内容の充実を図る	22%	14%
8	その他	2%	3%

1・2歳児の保護者が、「図書館や書店に子どもと行く」割合が低くなっている。

問10 子どもの読書活動についてご意見やご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

○絵本が好きなので、好きな絵本を増やしていきたい。

○幼稚園でのボランティアで本読みをしていますが、年々ボランティアの数が少なくなっているの
で、もう少し増えてほしいと思います。

○大井町立保育園・幼稚園年少児保護者に関する調査

実施期日：令和元年 11 月

対象者：大井町立幼稚園年少児保護者（平成 27 年度）大井町立保育園・幼稚園年少児保護者（令和元年度）

回答数：79 人（平成 27 年度）、60 人（令和元年度）

実施主体：大井町社会教育委員

※表では人数、グラフでは回答数における人数を割合で表示しています。

※無回答、もしくは端数四捨五入のため 100%にならない場合があります。

家でのお子さんへの読み聞かせについて教えてください。

問1 お子さんへ読み聞かせをしていますか。

No.	項目	H27	R 元
1	はい	85%	85%
2	いいえ	15%	13%
3	無回答	0%	2%

平成 27 年度に実施したアンケート結果とほぼ同じ結果となった。

問2 問1で「はい」と答えた方にお伺いします。（回答数 51 人）

(1) 読み聞かせを始めたおよその時期は、いつですか。

No.	項目	R 元
1	0～11 ヶ月	47%
2	1 歳～1 歳 11 ヶ月	31%
3	2 歳～2 歳 11 ヶ月	14%
4	3 歳	8%
5	その他	0%

読み聞かせの時期は、平成 27 年度に実施したアンケート結果、2 歳未満 73%であったが、今回は 78%となっており、母親の読み聞かせの意識が高くなっている。

(2) 読み聞かせの頻度を教えてください。

No.	項目	H27	R 元
1	毎日	15%	16%
2	週に 3～6 回	40%	27%
3	週に 1～2 回	31%	39%
4	月に 1～2 回	14%	18%

読み聞かせの頻度は「週に 3～6 回」と「週に 1～2 回」が逆転しており、保護者が読み聞かせをとる時間が少なくなっているのではないかと思う。

(3) 読み聞かせの本をどのように入手しますか。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	買う	69%	71%
2	図書館で借りる	40%	33%
3	保育園・幼稚園で借りる	34%	51%
4	自宅にある本		75%
5	電子書籍を利用		2%
6	その他	24%	6%

図書館の利用が減り、保育園や幼稚園で借りる人が多くなっている。その他としては「もらったもの」や「幼稚園のチャイルドブック」などが挙げられている。

(4) 本は、どのように選んでいますか。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	自分が気に入って	70%	84%
2	知人や友人にすすめられて	22%	22%
3	保育園・幼稚園にすすめられて	18%	22%
4	家族や親戚にすすめられて	16%	18%
5	子どもの頃に読んでもらって	37%	37%
6	その他	24%	6%

「自分が気に入って」や「保育園・幼稚園にすすめられて」で選書をする人が多くなってきている。

(5) お子さんへ読み聞かせする理由を教えてください。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	子どもの感性・言葉が豊かになるから	64%	57%
2	本に興味を持ってほしいから	73%	51%
3	子どもが落ち着くから	13%	9%
4	自分の気持ちが落ち着くから	6%	2%
5	親子のきずなを感じるから	25%	
6	親子で楽しめるから	66%	47%
7	子どもが喜ぶから		90%
8	その他	24%	6%

前回の質問項目と違うため、比較はできないが、「子どもが喜ぶから」が高い理由になっている。

前回はその他で、24%となっていた。今回は、その他で「寝つきが良いので」「読んでと言われる」などの自由記述があった。

(6) お子さまに読み聞かせをしてよかった本やおすすめしたい本があったら教えてください。

「だるまさんが (だるまさんシリーズ)」「どうぞのいす」「おやすみなさい」「とうさん」
 「おやすみなさいおつきさま」「電車にのって」「いかだにのって」「ばしやにのって」「おしちやダメ」
 「手ではなそうきらきら」「チャリコロ」「おにぎりにんじゃ」「いろいろのほん」「しろくまのパンツ」
 「ママがおばけになっちゃった!」「スイミー」「おいらひよっとこ」「こんもりくん」
 「おちやのじかんにきたとら」「ピーターラビットのおはなし (シリーズ)」「ぜったいにおしちやダメ」
 「かいじゅうたちのいるところ」「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」「ノンタン」「だるまさん」
 「けんかはやめなさい」「にんじんがあかいわけ」「1日1回お話の本」「さるカニがっせん」
 「カチカチャマ」「おべんとうバス」「おまえうまそうだな」「ノンタンブランコのせて」「せんろはつづく」
 「おやすみロジャー」「じしんの絵本」「イソップ物語」「いつもいっしょに」「ももんちゃんシリーズ」
 「やだ!」「もったいないばあさん」「リトルマーメイド」「ぼくはあるいた」「まっすぐまっすぐ」
 「おしっこちよっぴりもれたろう」「きょうりゅうのたまご」「わんぱくだん」かがくいひろしさんの作品

問3 問1で「いいえ」と答えた方にお伺いします。11人(平成27年度)8人(令和元年度)

読み聞かせをしない、または、しなくなった理由を教えてください。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	忙しくて時間がとれない	42%	50%
2	仕事をしていて時間がないから		0%
3	家での必要性を感じないから	13%	0%
4	子どもが希望しないから	6%	38%
5	本を読む習慣がないから	25%	38%
6	読み聞かせを負担に感じるから	66%	47%
7	その他	8%	6%

読み聞かせに「忙しくて時間がとれない」保護者が増えている。その他としては、「すぐに子どもがページをめくってしまい読めない」「子どもが聞かない」などの意見があった。

問4 読書の頻度について教えてください。(保護者自身が読む本)

1ヶ月に 0冊	1ヶ月に 1～2冊	1ヶ月に 3～5冊	1ヶ月に 6冊以上
41	14	4	1

No.	項目	R元
1	1ヶ月に0冊	68%
2	1ヶ月に1～2冊	23%
3	1ヶ月に3～5冊	7%
4	1ヶ月に6冊以上	2%

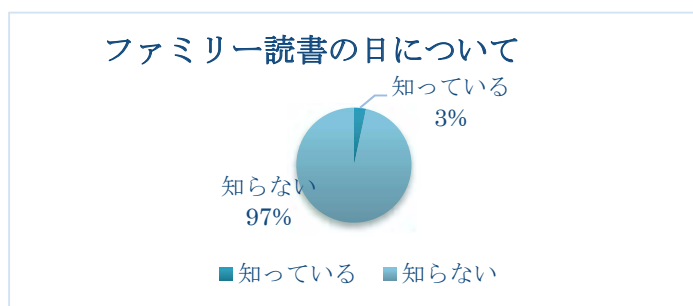
保護者の68%が1ヶ月に1冊も本を読まない状況がある。子どもに読書を薦めるには、大人も読書をするのが大切である。

問5 読書をする理由について教えてください。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	教養を身に付けるため	41%	68%
2	仕事に生かすため	13%	37%
3	趣味に生かすため	36%	53%
4	話題づくりのため	8%	5%
5	本を読むことが好きだから	28%	84%
6	その他	12%	42%

上位には「本を読むことが好きだから」「教養を身に付けるため」「趣味に生かすため」などがあつた。

問6 神奈川県教育委員会が定める「ファミリー読書の日」(毎月第1日曜日)を知っていますか。



知っている	知らない
2	58

図書館にポスターは掲示しているが、97%の人がファミリー読書の日を知らないなので、今後周知の仕方を検討していく必要がある。

問7 大井町の図書館<大井町図書館(生涯学習センター内)、そうわ会館図書室>をどのくらい利用されますか。

No.	項目	H27	R元
1	週に3回以上	0%	0%
2	週に1~2回	4%	4%
3	月に1~2回	27%	27%
4	年に数回	33%	36%
5	ほとんど利用していない	36%	33%

前回と比較してみても、それほど変化はみられないが、30%以上の人が利用されていないと答えている。その理由については、「欲しいものがみつからないから」「育児でいそがしい」「子どもが本を傷つけてしまうのではとってしまうため」「他の場所に遊びに行くため」「返すまでに読み切れなと思うから」「行くのが少し面倒」「引っ越して来たばかりで」「買う方が多いので」「子どもが静かにできないから」などの意見があつた。

問8 大井町の図書館事業について知っている項目に○をつけてください。(いくつでも)

No.	項目	H27	R元
1	絵本とわらべうたの紹介	67%	55%
2	絵本とわらべうたの会	53%	60%
3	1日体験わらべうた	24%	28%
4	おはなし会	71%	73%
5	親子といっしょのおはなし会	50%	55%

2回の結果をみると、それほど差は感じられなかった。今後も乳幼児期の健診やホームページ等で周知を行っていきたい。

問9 子どもたちが本に親しむために、何が必要だとお考えですか。(いくつでも)

No.	項目	H27	R 元
1	家庭で読み聞かせの機会を増やす	86%	75%
2	家庭で読書タイムを作る	28%	35%
3	家族に自分の読書を親しむ姿を見せる		30%
4	子どもの身近なところに本を置く	67%	67%
5	図書館や書店に子どもと行く	60%	60%
6	保育園・幼稚園で本を楽しめる機会を増やす	45%	65%
7	町立図書館等の施設や内容の充実を図る	26%	22%
8	その他	24%	2%

家庭で読み聞かせの機会を増やすが、10%ほど減少しており、家庭で読み聞かせが十分なされていることが推測される。また、保育園や幼稚園での本を楽しめる機会を望んでいる声が多い。

問10 子どもの読書活動についてご意見やご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

- 私自身が本を読むことが得意ではなかったので、子どもに積極的にすすめて本を読むことをしてきませんでした。読書に関心を持たせたい気持ちはあるので、まずは自分から本を取って読んでみようと思いました。
- 自分自身が子どもの時に読書の習慣がなくあまり好きではありませんでした。しかし、子どもが生まれてから色々な絵本の中のことに興味を持ってくれるようになり、寝る前に好きな本を1冊読むと約束して読み聞かせをしています。図書館も利用したいと思います。
- 静かに聞かない子どもへの読み聞かせを聞いてなくてもした方がいいのかどうか分からない。そういう情報を教えてくれるところがあったらうれしい。
- そうわ会館、大井町図書館のどちらも利用させてもらっています。個人的に子どもが好きそうだなと思う本が図書館に置かれていない時は、リクエスト用紙に書かせてもらい、ダメ元でもお願いするとほとんどは他館から取り寄せてくださいます。その際もネット登録すれば、メールで連絡をいただき、他には延長の手続きも携帯でできるのでとても便利に感じています。子どもが2人いますが、どちらもわらべうたの会に参加し楽しい時間を過ごしています。ありがとうございます。
- 私自身、本を読むことがあまり好きではないので、子どもにもあまり読み聞かせはしていませんが、幼稚園に通うようになり、本に興味が出てきています。今は、子どもが「読んで」と持ってくるので、家庭では読んであげている程度の読み聞かせです。
- 図書館の絵本に話題になったり、人気になったりした絵本(新しいもの)が少ないように感じます。スペースが許すのであれば、表紙が見えるように絵本を置くなど、子どもの目に留まりやすい、興味を持てるような図書館づくりをしてほしいと思います。
- 親が小さい時、読書しなかったので、子どもに読書のおもしろさや興味を持たせることが必要だと考えてます。
- 幼稚園で毎月絵本を購入しています。毎日、寝る前に子どもが好きな本を選んできて読み聞かせています。
- 幼稚園での読み聞かせ会の回数がもう少し増えると良いなと思っています。(現在、3か月に1回程) ママたちが読んでくれています。今の時代、皆さんお忙しいので回数を増やすのは難しいかなと思います。カリキュラムの都合もあるかもしれませんが、町内のボランティアさん(おはなしキャンドル、紙芝居ドリーム)のお力を借りてはいかがでしょうか。「伝承遊び」のように、地域の方々と、ふれあうことも子どもたちの成長にとって良いのではと思います。
- うちは1度か2度読んであげると、だいたい覚えて、自分で声を出して読むようになります。
- わらべうたの会は参加したことがあります。幼稚園でもわらべうたをやっているの、体験しておいて良かったと思いました。知らない方も多いと思うので、支援センターや健診時にアピールしたら良いと思います。
- 子どもはわらべうたが大好きです。自分をもっとわらべうたを知りたいと思いました。町のわらべうたの会などに行く時間を作りたいと思います。

○大井町立小学校児童に関する調査

実施期日：平成24年10月、平成27年7月、令和元年11月

対象者：大井町立小学校5年児童（平成24年度、平成27年度、令和元年度）

回答数：188人（平成24年度）、175人（平成27年度）、169人（令和元年度）

実施主体：大井町社会教育委員

※各年度での有効回答数における各項目の割合を表とグラフで比較しています。

※無回答、もしくは端数四捨五入のため100%にならない場合があります。

あなたの読書に対する関心について聞きます。

問1 本を読むのは好きですか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	すき	49.5%	48.6%	44.4%
2	どちらかというときすき	39.4%	40.0%	40.2%
3	どちらかというとき嫌い	10.1%	8.0%	13.0%
4	嫌い	1.1%	3.4%	2.4%

「すき」「どちらかというときすき」のいずれかを回答した児童は、88.9%(平成24年)→88.6%(平成27年)→84.2%(令和元年)とやや減少傾向にある。

問2 小さいころ、家で読み聞かせをしてもらったことがありますか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	ある			66.9%
2	ない			8.3%
3	覚えていない			23.7%

読み聞かせを経験している（覚えている）子どもが3分の2いる。

問3 本を読むのはどうしてですか。（いくつでも）

No.	項目	H24	H27	R元
1	おもしろいから・たのしいから	82.4%	82.3%	75.7%
2	ためになるから・勉強になるから	43.1%	40.6%	46.7%
3	知らなかったことがわかったり新しい発見があったりするから	43.1%	33.7%	48.5%
4	何かを調べたいから	28.7%	22.9%	
5	友だちが読むから	0.5%	10.9%	15.4%
6	先生や家の人が読んだ方がいいというから	9.0%	8.0%	7.7%
7	本を読むと先生や家の人にほめられるから	2.7%	3.4%	
8	その他	8.0%	4.6%	

「おもしろいから・たのしいから」を選んだ児童は70%を超えて一番多かったが、前回調査より6%ほど減少した。

一方で、「ためになるから・勉強になるから」「知らなかったことがわかったり新しい発見があったりするから」が増加しており、読書の楽しみより、調べることを目的として読書をしている割合が高くなっている。

また、学校で読む機会が増えていて、友だちが読むから一緒に読書に親しむ傾向がある。

問4 1か月に何冊くらい本を読みますか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	0冊(読まない)	4.3%	5.7%	4.7%
2	1～2冊	32.5%	33.1%	40.2%
3	3～4冊	20.7%	30.3%	27.8%
4	5～9冊	21.8%	22.3%	15.4%
5	10～19冊	11.2%	6.3%	5.3%
6	20冊以上	9.0%	2.3%	6.5%

「1～2冊(40.2%)」「20冊以上(6.5%)」となっており、前回調査より本をたくさん読む子どもとさほど読まない子どもの二極化となっている。全国の1か月に1冊も本を読まない子どもの割合(平成30年度)が8.1%であるのに対し、大井町の子どもは4.7%なので、読書に親しんでいる子どもは多い。学校での読書習慣が定着しているのか、自分の本を持ってきている児童が増え、すぐに読める環境がある。

問5 問4で1冊以上本を読む人に聞きます。

(1) どんな本をよく読みますか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元
1	小説・物語	62.2%	80.0%	87.6%
2	童話・絵本	14.9%	15.8%	16.8%
3	伝記・歴史	29.8%	21.2%	30.4%
4	社会や生活の本	7.4%	3.0%	
5	理科・科学	11.7%	8.5%	22.4%
6	スポーツや音楽(H24、27のみ)、工作・料理・手芸	35.6%	31.5%	15.5%
7	図かん(H24、H27のみ) スポーツ・音楽	27.1%	19.4%	19.3%
8	マンガ(学習にかかわるもの)	44.1%	36.4%	
9	その他	13.3%	3.0%	6.8%

上位から「小説・物語(87.6%)」「伝記・歴史(30.4%)」「理科・科学(22.4%)」となっており、子どもに人気のサバイバルシリーズの影響で理科・科学系が14%以上も増加している。その他としては、「動物・生き物」「マンガ」「文庫本」「アニメ・映画」「冒険」「女の子系の本」「4コマ」などが挙げられた。

(2) 読みたい本をどのようにえらびますか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元	
1	H24 自分でさがす	H27 R元 図書室や図書館でさがす	92.6%	52.7%	44.7%
		H27 R元 本屋でさがす		73.9%	81.4%
2	友だちにきく	17.0%	17.6%	26.7%	
3	家の人にきく	22.9%	19.4%	11.8%	
4	学校の先生にきく	0.0%	0.0%		
5	町の図書館の人にきく	12.8%	9.7%	3.7%	
6	新聞や雑誌でしようかいされた本をえらぶ	7.4%	3.0%	7.5%	
7	インターネットでさがす	12.2%	12.7%	13.0%	
8	その他	5.9%	1.8%	2.5%	

「自分でさがす」は最も多いが「友だちにきく」が増加しており、選書の際、家の人よりも友だちの影響によるところが大きい。その他として、「あらすじを読んで自分にあうかどうかで選ぶ」という回答もあった。

(3) 読みたい本をどのようにして手に入れますか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本屋で買う	93.1%	87.9%	87.0%
2	インターネットで買う	6.9%	8.5%	14.3%
3	学校の図書室でかりる	18.1%	45.5%	42.2%
4	町の図書館(大井町図書館、そうわ会館図書室)でかりる	39.9%	38.8%	41.0%
5	友だちからかりる	18.1%	23.6%	28.0%
6	スマホやタブレット等で直接読む(電子書せき) *H27 新設		5.5%	9.9%
7	その他	3.2%	0.6%	0.6%

「本屋で買う」は高い傾向であるが、インターネットの活用や友だちから本を借りる傾向も増加している。その他として「習い事の先生からおすすめの本を選ぶ」「おさがりでもらう」「ブックオフで買う」などが挙げられた。

読書推進の環境として、公共図書館の利用はほぼ横ばいである。

(4) どこで本を読みますか? (いくつでも) *平成27年新設

No.	項目	H27	R元
1	学校	78.8%	87.6%
2	家	86.1%	88.2%
3	図書室	20.0%	19.3%
4	その他	4.8%	0.6%

学校や家で読書をする傾向があり、図書室の利用はやや減少した。その他として「車」「電車の中」「出先」「友だちの家」などが挙げられた。

問6 問4で「0冊」だった人に聞きます。本を読まなかったのはどうしてですか。

(平成24年…回答数8人・一つだけ選択, 平成27年…回答数10人・令和元年…回答数8人 複数選択)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本を読む時間がないから	12.5%	60.0%	12.5%
2	読みたい本がないから	50.0%	60.0%	37.5%
3	本を読むのが好きではないから	25.0%	20.0%	75.0%
4	その他	12.5%	10.0%	0.0%

令和元年では、8人中6人が「本を読むのが好きではないから」と回答している。

あなたの学校図書室に対するの関心について聞きます。

問7 学校の図書室を利用しますか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	利用する	39.4%	72.7%	51.5%
2	利用しない	60.6%	27.3%	49.1%

平成24年と比較すると、学校の図書室の利用は増えている。平成27年には、図書室の大規模改修があり、図書室を利用する児童が大幅に増えた。

現在は、図書ボランティアの役割が大きく、過半数を維持できている。

問8 問7で「利用する」と答えた人に聞きます。

(1) 1週間にどのくらい利用しますか。

(平成24年…回答数74人、平成27年…回答数129人、令和元年…回答数87人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	1回	74.3%	52.7%	64.4%
2	2回	13.5%	32.6%	20.7%
3	3～4回	8.1%	11.6%	8.0%
4	5回以上	4.1%	3.1%	2.3%

1週間に1回または2回利用する児童の合計数では、3回の調査で差は感じられない。

(2) 図書室をどんなことに利用しますか。(いくつでも)

(平成24年…回答数74人、平成27年…回答数129人、令和元年…回答数74人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本を読むため	71.6%	62.0%	55.2%
2	本を借りるため	41.9%	57.0%	60.9%
3	調べ学習をするため	40.5%	38.8%	39.1%
4	その他	8.1%	3.9%	3.4%

本を借りるための微増しており、本を読むために図書室を訪れることは減少している。その他として、「図書委員会の仕事」「バスの待ち時間」などが挙げられた。

問9 問7で「利用しない」と答えた人に聞きます。利用しない理由は何ですか？(いくつでも)

(平成24年…回答数114人、平成27年…回答数47人、令和元年…回答数83人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本を読むのが好きでないから	7.9%	12.8%	19.3%
2	読みたい本がないから	59.6%	68.1%	55.4%
3	図書室があいていないから(あいている時間が少ないから)	1.8%	0.0%	
4	図書室が遠いから	5.3%	4.3%	9.6%
5	新しい本が少ないから	17.5%	10.6%	31.3%
6	本のえらび方がわからないから	2.6%	8.5%	8.4%
7	図書室に行く時間がないから	31.6%	38.3%	19.3%
8	その他()	21.1%	17.0%	6.0%

「利用しない」と回答した小学生は83人となっており、上位から「読みたい本がないから(46人・55.4%)」「新しい本が少ないから(26人・31.3%)」「本を読むのが好きではないから(16人・19.3%)」「図書室に行く時間がないから(16人・19.3%)」となっている。その他として、「休み時間は外で遊びたいから」「自分の読む本があるから」「借りたり返したりが面倒くさい」などの意見があった。

問10 学校の図書室にしてほしいと思うことは何ですか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本の種類をふやしてほしい	54.8%	68.6%	64.5%
2	読みたい本のリクエストにこたえてほしい	34.0%	23.3%	24.3%
3	かし出し期間を長くしてほしい	25.0%	43.0%	39.6%
4	本を読む席の数をふやしてほしい	8.0%	11.0%	8.3%
5	おすすめの本を教えてほしい	14.9%	21.5%	20.1%
6	本のさがし方や図書室の使い方を教えて欲しい	4.8%	5.8%	10.7%
7	いつも図書室に本のことや調べものについて教えてくれる人がいてほしい	7.4%	4.7%	
8	特にない	21.3%	18.1%	18.9%
9	その他	6.9%	2.9%	2.4%

上位から「本の種類をふやしてほしい(64.5%)」「かし出し期間を長くしてほしい(39.6%)」「読みたい本のリクエストにこたえてほしい(24.3%)」となっている。その他の意見としては、「どこにどの本があるか分かりやすくしてほしい」「キレイにしてほしい」など、図書館の環境改善を望んでいる声がある。

あなたの町の図書館に対する関心について聞きます。

問11 大井町に図書館があることを知っていますか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	知っている	96.8%	99.4%	97.0%
2	知らない	2.7%	0.6%	2.4%

「知っている」と回答した児童は、97%を超えており、認知はされていることがわかる。

問12 大井町図書館(生涯学習センター内)のホームページから、おすすめの本を調べたり予約したりすることができるのを知っていますか。*平成27年新設

No.	項目	H27	R元
1	知っている	43.4%	36.7%
2	知らない	56.6%	62.7%

「知っている」と回答した児童が減少しており、周知の仕方を工夫していく必要がある。

問13 この1年間に、大井町の図書館へ行ったことがありますか。

No.	項目	H24	H27	R元
1	ある	83.5%	77.8%	69.8%
2	ない	16.0%	22.2%	27.8%

「ある」と回答した児童が減少しており、魅力ある図書館作りをしていく必要がある。

問14 問13で「ある」と答えた人に聞きます。

(1) 大井町の図書館にはどのくらい行きますか。

(平成24年…回答数157人、平成27年…回答数135人、令和元年…回答数118人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	ほとんど毎日	5.1%	5.2%	0.0%
2	週に3回ほど	3.2%	6.7%	1.7%
3	週に1回ほど	8.9%	8.9%	11.9%
4	2週間に1回ほど	10.2%	12.6%	16.9%
5	1か月に1回ほど	17.8%	21.5%	11.9%
6	年に5～6回ほど	28.7%	17.8%	16.9%
7	年に1～3回ほど	25.5%	25.1%	30.5%
8	その他	0.6%	2.2%	2.5%

「この1年間に、大井町の図書館へ行ったことがある」と回答した小学生は、117人で、「年に1～3回」が多くなっている。また、「ほとんど毎日」がなくなり、相和小の児童が放課後子ども教室を利用して、そうわ会館図書室でバスを待つことがなくなったためだと思われる。

(2) 大井町の図書館に行くのは、何のためですか。(いくつでも)

(平成24年…回答数157人、平成27年…回答数135人、令和元年…回答数118人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本を読むため	56.7%	61.7%	54.2%
2	本をかりるため	52.2%	62.4%	61.0%
3	調べものをするため	51.6%	52.6%	40.7%
4	勉強するため	35.0%	33.4%	22.0%
5	おはなし会などのイベントに参加するため	0.6%	3.0%	
6	その他	11.5%	4.5%	7.6%

「本を読むために」と回答した数が少なくなっている。この結果は学校図書館に行くための理由と共通している。

問15 問13で「ない」と答えた人に聞きます。大井町の図書館に行かない理由は何ですか(いくつでも)

(平成24年…回答数30人、平成27年…回答数38人、令和元年…回答数47人)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本にきょうみがないから	13.3%	13.2%	14.9%
2	図書館が遠いから	40.0%	34.2%	40.4%
3	本屋やインターネットで本を買うから	30.0%	23.7%	36.2%
4	図書館に行く時間がないから	50.0%	63.2%	59.6%
5	家や学校の図書室に読みたい本があるから	13.3%	31.2%	25.5%
6	その他	6.7%	7.9%	10.6%

「図書館に行く時間がないから」と回答した児童が最も多い。児童の平日の下校時刻からすれば来館は非常に難しい状況にある。休日の利用も考えられるが、習い事で忙しい状況にある。また、インターネットサービスの利用が普及しており、ネットで本を購入している場合が増えている。

問16 大井町の図書館をどのようにしてほしいと思いますか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元
1	本の種類をふやしてほしい	38.3%	52.0%	44.4%
2	かし出し期間を長くしてほしい(現在は2週間、延長は1回(2週間)のみ可)	18.6%	22.0%	21.9%
3	本のさがし方や図書館の使い方を教えてほしい	3.2%	8.1%	6.5%
4	本をえらんだり調べ学習をしたりするときにそうだんにのってほしい	7.4%	12.1%	7.7%
5	DVDなどの種類をふやしてほしい(H24はビデオもあり)	19.1%	19.1%	11.8%
6	本の並び方をもっとわかりやすくしてほしい	16.0%	25.4%	27.2%
7	その他	3.2%	1.7%	0.0%
8	特にない	28.7%	31.2%	29.6%

「本の種類をふやしてほしい(44.4%)」「本の並び方をもっとわかりやすくしてほしい(27.2%)」「かし出し期間を長くしてほしい(21.2%)」と続いている。本の並び方をわかりやすくして欲しいとの意見が多くなってきている。

これからの読書について聞きます

問17 心を豊かにするために、より多くの本に出会うには、どのようなやり方がよいと思いますか。(いくつでも)

No.	項目	H24	H27	R元
1	小さいころから読み聞かせなどをおして、本に親しむ	58.5%	54.9%	61.5%
2	小さいころから図書館や本屋などに行く	37.2%	46.8%	44.4%
3	家族で読書に親しむようにする	34.6%	41.6%	38.5%
4	学校で読書の時間を決める	27.7%	43.9%	38.5%
5	学校の図書室を利用しやすくする	30.3%	37.0%	35.5%
6	学校でおはなし会などをひらく	35.6%	30.6%	18.3%
7	図書委員会をおして本のしょうかいなどをする	30.9%	31.8%	33.7%
8	その他	8.5%	1.7%	1.2%

子どもたち自身にも読書活動推進の方策について質問してみた。上位から「小さいころから読み聞かせなどをおして、本に親しむ(61.5%)」「小さいころから図書館や本屋などに行く(44.4%)」「家族で読書に親しむようにする(38.5%)」「家族で読書の時間を決める(38.5%)」となっており、どれも高い回答率となった。学校の図書室や町の図書館の充実も大事だが、家庭における読書環境の充実の重要性を感じている児童が多いことが分かる。

その他として、「図書館の使い方を教える」「おススメの本を集めておいて選びやすい環境をつくる」「子ども新聞をとる」「自分が好きな本をみんなに知らせる」などの意見があった。

アンケートからみた現状と課題

(1) 家庭・地域

家庭は、幼い子どもたちが本に触れる初めての場所であり、穏やかな成長のための重要な役割を担っている場所でもあります。

しかし、少子化、共働き、多様なメディア・情報化社会の影響もあり、家族のあり方や生活スタイルも変わりつつある中で、家庭で読書の時間を持つことが難しくなっています。

保育園・幼稚園の保護者アンケートでは、家庭において「読み聞かせをしている」は85%で、読み聞かせを始めた時期は「0歳～11ヶ月」が47%、「1歳～1歳11ヶ月」が31%、「2歳～2歳11ヶ月」が14%となっています。

また、読み聞かせをする理由について、「子どもが喜ぶから」が90%、「子どもの感性・言葉が豊かになるから」が57%、「本に興味を持ってほしいから」が51%と回答しており、子どもへの読書が必要であるのを感じていると読み取れます。

しかし、子どもが成長するにつれて、忙しくて読み聞かせをしなくなる傾向があり、保護者の読書量についても、「1ヶ月に0冊」が68%となっています。

家庭では、心を育むために、家族で読書に親しむ工夫や取組が求められています。保護者が温かい言葉で読み聞かせを行い、本に親しむことは、子どもたちに喜びを与え、楽しい経験として蓄積され、将来にわたり子どもたちの積極的な読書活動の基礎になると考えます。

アンケートで「ファミリー読書の日を知っていますか」に、97%が「知らない」と回答し、「大井町の図書館をどのくらい利用されますか」では、36%が「ほとんど利用していない」と低い結果になり、図書館のPRの必要性を感じます。

また、1・2歳児の保護者アンケートでは、自由記述に「大井町図書館は遠いため、ほとんど利用していない」との意見もあり、地域の自治会館が読み聞かせや読書の場となることも必要だと考えます。

(2) 保育園・幼稚園

幼児期の子どもたちは、家庭から離れて保育園・幼稚園で先生や友だちと過ごし、さまざまな遊びを通して社会性を身に付け、新たな成長を遂げる大切なときです。この時期の読書体験は、豊かな感性や情緒を育みます。

本町には、公立の保育園が1ヶ所、幼稚園が3ヶ所あり、各施設で読書活動を推進しており、アンケートで保護者は、読み聞かせの本の51%を保育園や幼稚園から借りています。また、本の選び方についても、22%が保育園や幼稚園に勧められ借りている結果となっています。自由記述では、幼稚園でボランティアさんによる読み聞かせの増加を希望している声もありました。保育園・幼稚園での読み聞かせが本に親しむ幼児の育成に大きく影響力を与えることが理解されているのだと思います。

保護者の中には、読み聞かせの仕方が分からず困っている方もいるので、保育園・幼稚園が「読み聞かせの仕方」や「読み聞かせの効果」など情報発信の場となれるよう町図書館が積極的に支援していく必要があります。

今後は、町図書館が子どもたちや保護者がさらにたくさんの本との出会い、本の楽しさにふれあうことができるように、保育園や幼稚園と情報交換し、環境整備をしていくことが大切です。

(3) 小学校

学校図書館は、主体的な学習活動を支える学習情報を提供し、子どもたちの自由な読書活動を推進する重要な役割を担っています。また、学校における読書は、子どもの豊かな人間形成を促し、自ら学習に取組み、知識を得る大事な手段です。

町内の3小学校へのアンケート結果では、1ヶ月に1冊も本を読まない割合が4.7%であり、神奈川県の結果8.1%と比較して小学生の不読者数は下回っています。学校図書館の利用については51.5%の児童が利用しており、図書ボランティアによる季節ごとの環境整備や選びやすい本の並べ方など工夫をしている結果だと思えます。

「心を豊かにするために、より多くの本に出会うには、どのようなやり方がよいと思えますか」の問いに、「小さいころから読み聞かせなどをおして、本に親しむ」が61.5%「小さいころから図書館や本屋などに行く」が44.4%となっており、家庭における読書環境の充実の重要性を感じている児童が多いことが分かります。小さいころから多くの本に出会うには、乳幼児健診や入園説明会の時に、本の選び方や読み聞かせの効果を紹介していくことも大切であると考えます。

また、大人が読書に親しむ機会がもてるよう、「ファミリー読書」の推進や「寝る前5分間読み聞かせ」など周知する工夫も必要です。

(4) 図書館

地域の情報拠点として大井町図書館は昭和62年11月、そうわ会館図書室は平成11年1月の開館以来、親しまれる図書館をめざして、さまざまな事業を実施しながら読書活動の普及に努めています。大井町図書館の蔵書冊数は紙芝居を含め、77,390冊、そうわ会館の蔵書冊数は13,161冊となっています。(令和2年3月31日現在)

読書普及のために、乳幼児期から「親子いっしょのおはなし会」が毎月第2木曜日、「おはなし会」が毎週土曜日、「絵本とわらべうたの会」が毎月第2第4金曜日に開催されています。

また、学校貸出文庫では、町立小学校3校に4ヶ月を単位で1回200冊を貸し出し、児童コミュニティクラブにも6ヶ月を単位に1回110冊を貸し出しています。

小学校のアンケートでは、「この1年間に、大井町の図書館へ行ったことがありますか」の問いに、69.8%が「ある」と回答しているものの、前回調査より8%減少しています。

そして、大井町図書館のホームページから、おすすめの本を調べたり予約したりすることができるシステムを知っている児童はわずか36.7%であり、出前講座をおし、児童たちにホームページでの検索の仕方を教えていく必要があります。

1・2歳児の保護者については、大井町の図書館事業「絵本とわらべうたの会」や「おはなし会」など約50%が知らないので、Facebook、ホームページで周知していくことが大切だと考えます。

子どもの読書活動を推進するためには、幼児から高校生まで各年齢層に対応した図書の収集を行う必要があります。さまざまなニーズに応えるための幅広い、図書館職員の選書力が求められます。

さらに、子どもが手にとってみたくなるように分かりやすい配架が求められます。

子どもたちが心地よく読書ができ、安らぎの居場所となるための図書館の環境整備やサービスの充実に努めます。

第3章 子どもの読書活動推進のための方策

1 子ども読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

子どもへの読書活動を促進するため、乳幼児期からの保護者への働きかけや周知、啓発を子育て健康課や生涯学習課（図書館）と連携して行います。

No.	具体的取組	具体的取組の概要	推進部署
1	読書環境の充実	家庭の中に本がある環境を作ることが大切です。子どもの発達段階に合わせた本の選び方や楽しみ方を知ってもらうために、図書館の積極的な利用を促します。 図書館の絵本や児童書の充実を図り、保護者が乳幼児を連れて来館しやすいように、館内の雰囲気づくりを行います。	生涯学習課 (図書館)
2	ブックスタート事業の実施	大井町在住の乳児にかかる訪問や教室等で絵本を贈り、読み聞かせを通じて、家庭での「親子で読書を楽しむ」ことの大切さを伝えます。	子育て健康課 生涯学習課 (図書館)
3	講座・研修会等での啓発	子ども読書に関する講座や研修会を通じて、保護者に子どもへの読書の重要性を伝えます。	生涯学習課 (図書館) 子育て健康課

*ブックスタート事業・・・地域で生まれた赤ちゃんと保護者を対象に絵本や子育てに関する情報などを手渡しすることで、絵本を通じて、親子・家族のふれあいを深め、赤ちゃんの心と言葉を育み、楽しい時間を持つことを応援する事業

(2) 学校における読書活動の推進

生涯にわたって読書を継続していく習慣を子どもに身に付けさせるため、小中学校の発達段階に応じた自主的・意欲的な読書活動を支援します。

No.	具体的取組	具体的取組の概要	推進部署
1	各学校における読書活動の実施	図書主任等は、各学校の特色や児童・生徒の実態に即した読書活動を推進します。	教育総務課 小中学校
2	読書時間の確保	各学校での朝読書や一斉読書の取り組みを継続します。児童・生徒の教室の机の中には、いつも一冊の本を入れて、本を身近のものとして読書を楽しめるようにします。	教育総務課 小中学校
3	読書環境の整備と充実	文部科学省が設定した「学校図書館図書標準」を目途に、児童・生徒を満足させる蔵書の増冊と整備を行います。	教育総務課 小中学校
4	図書主任、司書教諭及び学校司書の配置と研修	図書主任、司書教諭及び学校司書の配置と実践的能力向上を資し、研修を充実します。	教育総務課

(3) 保育園・幼稚園における読書活動の推進

初めて集団生活を体験する保育園・幼稚園では、園児の世界が大きく広がる時期に心の栄養となる絵本に出会うことが大切です。

保育園や幼稚園での毎日の読み聞かせが日常的に行われ、家庭では親と子がともに読書を楽しむことで、読書習慣を身に付けることになります。

No.	具体的取組	具体的取組の概要	推進部署
1	保育園・幼稚園における絵本と親しめる環境づくり	園児の心に響く読み聞かせを日常化し、良い絵本との出会う機会を整えます。読み聞かせボランティアを通じて、読み聞かせやパネルシアターやエプロンシアターを実施します。	生涯学習課 (図書館) 保育園・幼稚園
2	保護者に対する家庭での読み聞かせの奨励	園だよりやクラスだよりなどで園での読み聞かせの様子を知らせるなど、保護者に対して、家庭での読み聞かせの大切さや絵本を通じての子育ての楽しさを伝えます。	生涯学習課 (図書館) 保育園・幼稚園

*エプロンシアター・・・舞台に見立てた胸当て式エプロンに物語の背景とマジックテープを縫いつけ、演じ手がポケットから人形を取り出してエプロンに張り付けながら物語を演じる人形劇

(4) 生涯学習課（図書館）における読書活動の推進

図書館は、子どもが日常生活の中でいつでも読書に親しめる場所であり、地域における子どもたちの読書活動を推進する上で、中心的な役割が求められています。

図書館は魅力ある蔵書の充実を図り、おはなし会などを開催し、保育園や幼稚園、小中学校等への団体貸出を通じて子どもは本に親しむ機会を得ることができます。さらに戦略的な事業を実施することで、子どもの読書活動を推進します。

No.	具体的取組	具体的取組の概要	推進部署
1	図書館資料やサービスの充実	絵本や物語、調べ学習に役立つ本など魅力ある蔵書の充実を図り、乳幼児から中学生までの発達段階に添ったサービスや配架などの工夫をし、資料提供します。	生涯学習課 (図書館)
2	おはなし会等の実施	各施設へのおはなし会やわらべうた、出前講座などを実施し、読書の楽しさを知ってもらいます。	生涯学習課 (図書館)
3	ティーンズ(青少年)サービスの充実	中学・高校生など青少年を対象に興味や関心のある資料を積極的に収集し、配架に工夫をします。	生涯学習課 (図書館)
4	ブックリストの発行	子どもの発達段階に添ったブックリストを作成し、子どもの興味を促すような図書の紹介を行います。	生涯学習課 (図書館)
5	団体貸出の充実	保育園・幼稚園や小中学校、児童コミュニティクラブなどに対して、図書館資料の貸出を積極的に行い、本の選び方や読書活動に役立つ情報提供などの支援を行います。	生涯学習課 (図書館)
6	小中学校等の連携	図書館では、子どもの職場体験や見学を受け入れ、利用方法や読書の楽しさを知ってもらい、図書館を利用するきっかけづくりを支援します。	生涯学習課 (図書館)
7	障がいのある子どもに対する図書館サービスの充実	障がいのある子どもへの読書活動を支援できるよう、小中学校の特別支援学級及び関係機関やボランティアとの連携を図ります。	生涯学習課 (図書館)
8	読書ボランティアの育成・支援	地域・学校などにおける子どもの読書活動を推進するため、養成講座を開催し、読書ボランティアの技術の向上や支援に努めます。	生涯学習課 (図書館)
9	子どもの読書に関する講座・講演会の開催	子どもがより充実した読書活動が行えるよう年代に合わせた多様な講座や講演会を開催します。	生涯学習課 (図書館)

2 子ども読書活動推進のための啓発

子どもの読書活動の推進は、色々な手段を用いて読書に関心を持ち、理解してもらうことが必要です。

そのためには、啓発のための広報活動を常に心がける取組を行います。

No.	具体的取組	具体的取組の概要	推進部署
1	「子ども読書の日」・「ファミリー読書の日」等における事業啓発	子どもや保護者に読書の大切さや必要性を周知するイベントの実施やメディアで周知を行います。	生涯学習課 (図書館) その他
2	広報・ホームページ等による情報掲載	読書に関わる取組や事業を広報おおいや学校等の記事に掲載するとともに、大井町及び大井町図書館のホームページで積極的に読書活動の様子を発信する。	生涯学習課 (図書館) その他

*子ども読書の日・・・国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子ども読書活動の推進に関する法律」で定められている日で、毎年4月23日とされている。

*ファミリー読書の日・・・県民の子ども読書活動への普及啓発活動のために、神奈川県教育委員会で定められている日で、毎月第1日曜日とされている。

第三次大井町子ども読書活動推進計画 ～夢☆おおい読書のすすめ～
令和3年3月

【発行】大井町教育委員会

【編集】大井町教育委員会生涯学習課

〒258-8501

足柄上郡大井町金子1995（大井町生涯学習センター）

電話 0465-83-5409

FAX 0465-82-3290

E-mail shougaku@town.oi.kanagawa.jp

